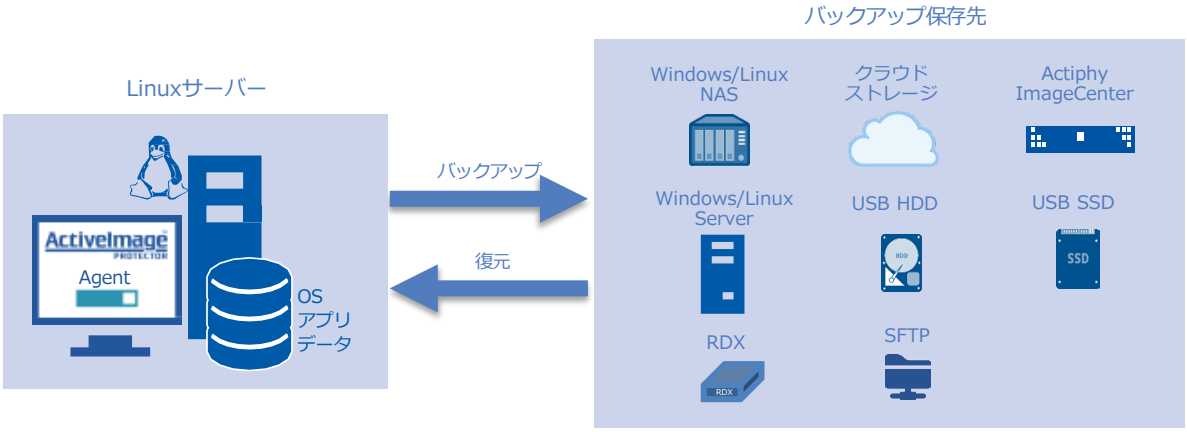
# ActiveImage™ 2022 PROTECTOR Linux

## ActiveImage Protector™ Linuxとは

### Linuxサーバーを丸ごと保護するバックアップソリューション

ActiveImage Protector™ Linuxは、Linuxサーバー環境に対応したバックアップソリューションです。
Linuxサーバーの OS・アプリケーション・設定・データを含むシステム全体をディスクイメージとしてバックアップし、システムを包括的に保護します。障害やシステムトラブルが発生した場合でも、バックアップ時点の状態へ迅速に復元できるため、業務停止時間の最小化とBCP対策の強化を実現します。また、主要なLinuxディストリビューションに幅広く対応しており、Linuxサーバー環境におけるバックアップ運用を、容易かつ確実におこなえる環境を提供します。

| 簡単な導入 | 容易な操作性 | 柔軟な復元機能 |
|---|---|---|
| 必要なパッケージやドライバーをインストールするスクリプトを用意しているため、複雑な準備も不要で導入可能。Linux環境でも手間をかけず、容易にバックアップ環境を構築できます。 | 完全日本語GUIにより、Windows版とほぼ同様の操作手順でバックアップおよび復元が可能。Windows PCからの操作にも対応しており、Linux専任の管理者が不在でも容易に運用することができます。 | オンメモリでも動作可能なLinuxベースの起動環境により、障害時でもシステム全体を迅速に復旧可能。さらに、ファイル／ディレクトリ単位の復元も可能で、状況に応じたリカバリーを実現します。 |




## 特長：復旧を前提とした設計思想と運用のしやすさ

ActiveImage Protector™は、システム規模や運用ポリシーに応じた柔軟なバックアップ運用が可能で、単なるデータ保護ではなく「迅速かつ確実に復旧できること」を前提に設計されてます。バックアップの取得だけでなく、復元の確実性と実行の容易さを考慮して設計されているため、障害発生時にも迷わず復旧作業を進めることができます。操作は日本語管理コンソールから実行でき、バックアップおよび復元は、ウィザード形式で手順に沿って進められます。日常運用から緊急時の復旧作業まで、専門知識に依存しない操作性を実現することで、担当者の対応レベルを標準化し、管理者の運用負担を軽減します。

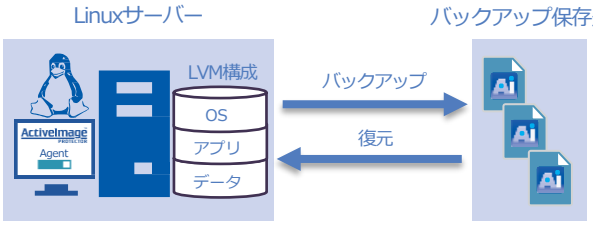


## このような課題を解決します。

- ✓ **Linuxサーバーのバックアップ運用が複雑で管理負荷が高い。**
- ✓ **バックアップは取得しているが、障害時に確実に復元できるか不安がある。**
- ✓ **ランサムウェアやシステム障害に備えた安全なバックアップ環境を構築したい。**

## LVM構成システムの一括バックアップ／復元

LVMで構成されたシステムを丸ごとバックアップし、一括で復元できます。ベアメタルリカバリーにも対応しており、障害発生時でも迅速なシステム復旧が可能です。さらに、MySQL、Oracle、PostgreSQL DBののオンラインバックアップにも対応しており、システムを停止することなく安全にバックアップを取得できます。




## 特定のファイル／ディレクトリの復元

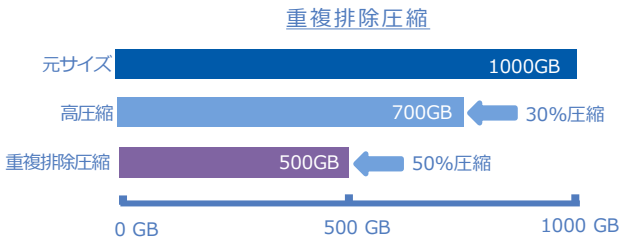
システム全体のバックアップから、必要なファイルやディレクトリのみを選択して復元できます。誤って削除・更新してしまったデータだけをピンポイントで復旧できるため、復元作業の手間を軽減し、業務への影響を最小限に抑えます。

## 幅広いLinuxディストリビューションに対応

Red Hat Enterprise Linux、CentOS、Oracle Linux、AlmaLinux、MIRACLE LINUX、Rocky Linux、Amazon Linux、SUSE Linux、openSUSE Leap、Ubuntu、Debian など、主要なLinuxディストリビューションに幅広く対応しています。多様なLinuxサーバー環境でも、安定したバックアップ運用を実現します。

## 保存容量を抑える増分・圧縮技術

増分バックアップでは、前回のバックアップから変更された部分のみを取得するため、バックアップ時間と保存容量を大幅に削減できます。さらに重複排除圧縮により、同一データを自動的に排除しながら圧縮するため、ストレージ使用量を抑えることができます。




## 柔軟なスケジュールと世代管理

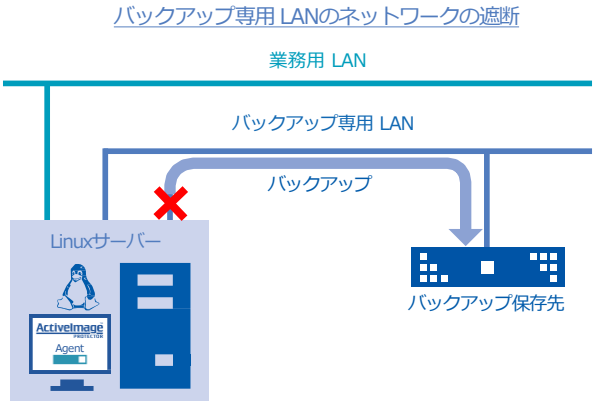
バックアップは運用方針に合わせて柔軟にスケジュール設定が可能です。単発実行のほか、週次・月次・曜日指定などに対応しています。フルバックアップと増分バックアップを組み合わせることで効率的な運用を実現します。世代管理機能により古いデータを自動整理し、保存容量を適切に管理できます。

設定例：
・毎週日曜日は、フルバックアップを実行
・月曜～土曜日は、1回/1日、増分バックアップを実行




## バックアップデータの保護対策

バックアップ完了後に保存先を自動的に切り離す隔離機能を備えており、ディスクのオフライン化やネットワーク遮断によりバックアップデータを論理的に分離できます。これにより、ランサムウェアなどの不正アクセスによる被害リスクを低減します。さらに、バックアップ結果やエラー情報、ライセンス期限などをメールで通知し、運用状況を継続的に把握できます。




## 管理性と運用効率の向上

完全日本語インターフェースを採用しており、GUI操作はWindows版とLinux版でほぼ同様の手順で操作できます。バックアップ操作はWindows PCからでも実行できるため、Linux専任の管理者が不在でも、Windowsエンジニアが容易に運用可能です。また、Linuxエキスパート向けにコマンドライン操作にも対応しています。障害発生時には、オンメモリでも動作可能なLinuxベースの起動環境を利用し、システム全体を迅速に復旧できます。

Actiphy
株式会社 アクティファイ　〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町8番 NCO神田紺屋町
TEL：03-5256-0877　FAX：03-5256-0878　https://www.actiphy.com　sales@actiphy.com

© 2026 Actiphy, Inc. All rights reserved. ActiveImage Protector、vStandby、Actiphy ImageCenter、HyperBoot、ReZoom It!、BootCheck、ActiveVisor、RescueBoot、HyperAgentは、株式会社 アクティファイの商標です。
Microsoft、Windows、Windowsロゴは、米国および諸外国におけるMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。その他のブランド名および製品名は、それぞれ帰属する所有者の商標または登録商標です。